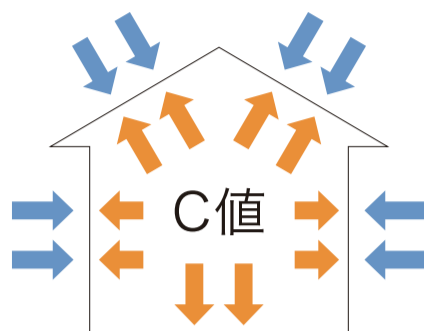


気密性を表す指標「C値」。

C 値とは、住宅における家中の隙間を集めた相当隙間面積のことで、家中の隙間を集めた隙間面積 (cm²) を延床面積 (m²) で割ったもので数値を算出します。値が 0 に近いほど隙間の総量が少ないことを示すため、C 値が低い = 気密性能が高いということになります。

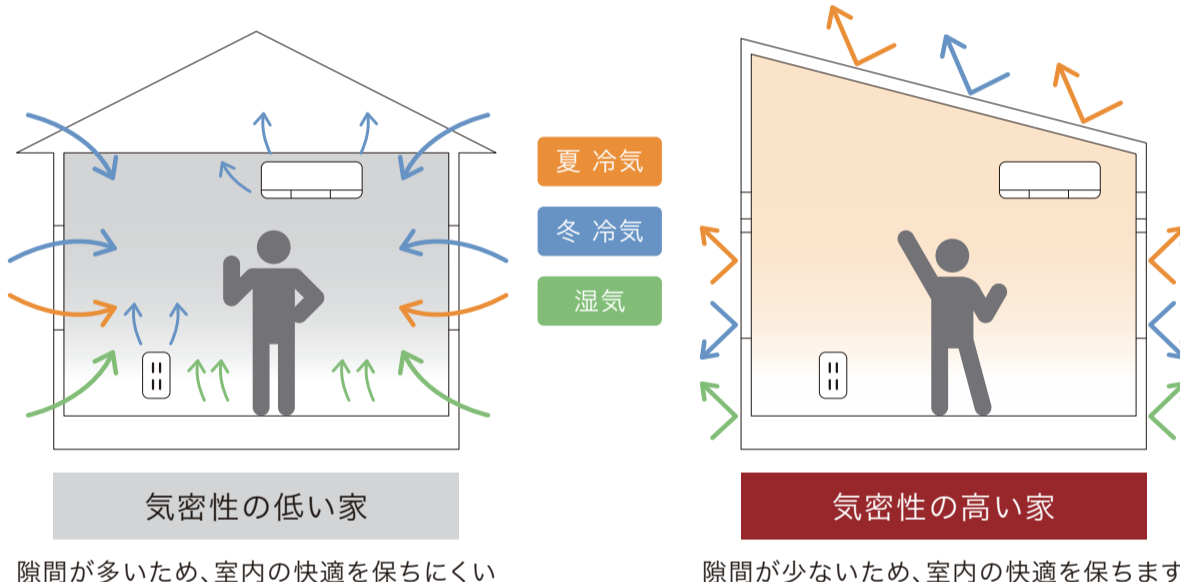
$$C \text{ 値} = \frac{\text{建物全体の隙間の合計 (cm}^2\text{)}}{\text{建物の延床面積 (m}^2\text{)}}$$



→ 隙間から逃げる室内の空気 ← 隙間から侵入する外気

快適で健康的な住環境には、気密性が欠かせない性能。

C 値が低い = 隙間の面積が少なければ、外部からの熱の侵入や室内からの熱の逃げを防ぐことができます。これにより、家の断熱性能が向上し冷暖房の効果が高まりエネルギー効率が良くなります。「シロとクロ」は、現場発泡の高性能ウレタンフォーム断熱材を使用することで、C 値はハガキサイズ半分以下の 0.5 以下を保証。全ての家で気密測定も実施するので安心です。



一棟一棟、気密性を厳しくチェック。

「シロとクロ」の家では、基本的には C 値 0.5 以下の気密性能を保証しており、全棟気密測定を外注業者にて実施し、基本性能を下回っていないか必ずチェックを致します。万が一基本性能の数値を満たさなかった場合は、C 値が 0.5 以下になるまで改修・修繕対応致します。ちなみに気密測定のコストは全て建物価格の中に含まれており、お客様に追加で新たな費用が発生することはありませんのでご安心ください。また気密測定の結果は、お引き渡し前に全てのお客様にご案内させていただきます。

